

■都市公園・緑地

快適な生活を享受するためには、機能的であると同時に潤いのある環境が必要です。余暇時間の増大や生活意識の向上に伴い、潤いのある環境の整備はまちづくりにとって欠かせないものとなっています。公園・緑地は、その潤いと安らぎを与える憩いの場であると同時に、美しい景観形成や災害時の避難場所としても活用されるなど、重要な役割を担っています。

○公園の種類

都市公園の種類	概要
国営公園	国が設置する大規模な公園で、300ha以上を標準とし、記念事業として設置する場合は、その目的にふさわしい内容を備えるよう整備する。
広域公園	数市町村にまたがる広域レクリエーションのための公園
特殊公園	風致公園、動植物公園、歴史公園、墓園等特殊な公園で、その目的に応じて配置する。
運動公園	都市住民の運動の場として、各種スポーツ施設レクリエーション施設を備えた公園
総合公園	休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動、コミュニケーションなどのための各種施設が総合的に設けられた公園
地区公園	徒歩圏域に居住する住民に利用され、災害時には避難中継基地ともなる公園
近隣公園	近隣コミュニティ形成の役目を担う公園
街区公園	もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的にした公園で、最も身近に利用できる公園
緑道	災害時における避難路の確保及び都市生活の安全性や快適性を確保するための植樹帯や歩行者路又は自転車路などの緑地
都市緑道	都市の自然環境の保全や改善、都市景観の向上を図るために設けられる緑地
緩衝緑地	大気汚染や騒音、振動、悪臭等の公害防止、災害防止を図ることを目的とした緑地

出典：国土交通省HP



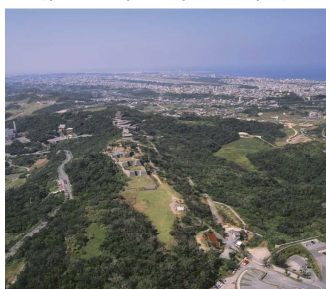
首里城公園
(国営公園・総合公園)



浦添大公園
(総合公園)



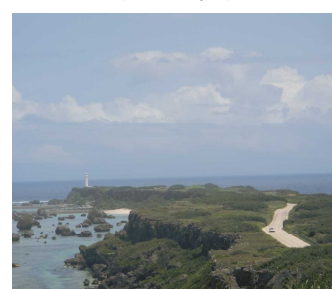
真栄里公園
(近隣公園)



中城公園
(広域公園)



天久プリン山公園
(街区公園)



東平安名崎
(風致公園)

○首里城公園

沖縄の歴史・文化の中心にある首里城及びその外苑を公園として整備したもので、地域住民の利用はもとより沖縄観光の拠点ともなる公園です。公園全体の中心にある国営沖縄記念公園首里城地区を県営公園が取り囲む形で存在しています。国営沖縄記念公園の一部について平成31年2月から国から許可を受けて、沖縄県が管理を行っています。令和元年10月31日の火災により、首里城正殿の他9施設が焼損してしまいましたが、今後、国や関係団体と協議・調整を行いながら、早期の復元に取り組んでまいります。

首里城公園の概要

位置	沖縄県那覇市首里当蔵町
都市計画 決定面積	17.8ha
整備着手年度	昭和61年度
供用開始	平成4年度

出典：平成28年度都市計画基礎調査
首里城公園HP



正殿



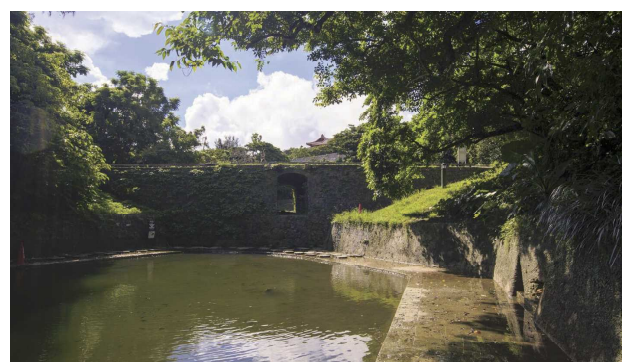
世誇殿



御庭



首里杜館

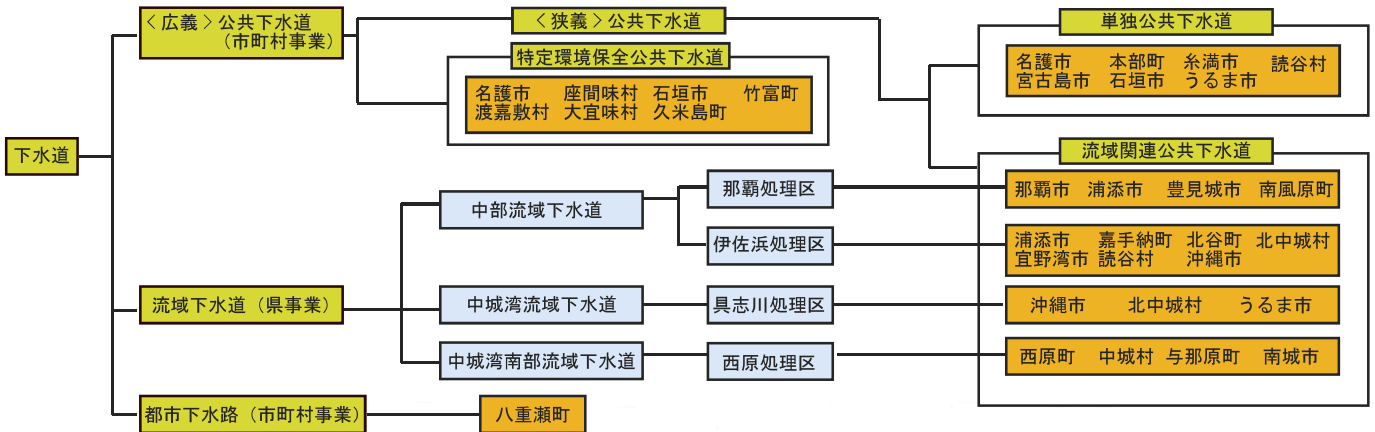


龍潭

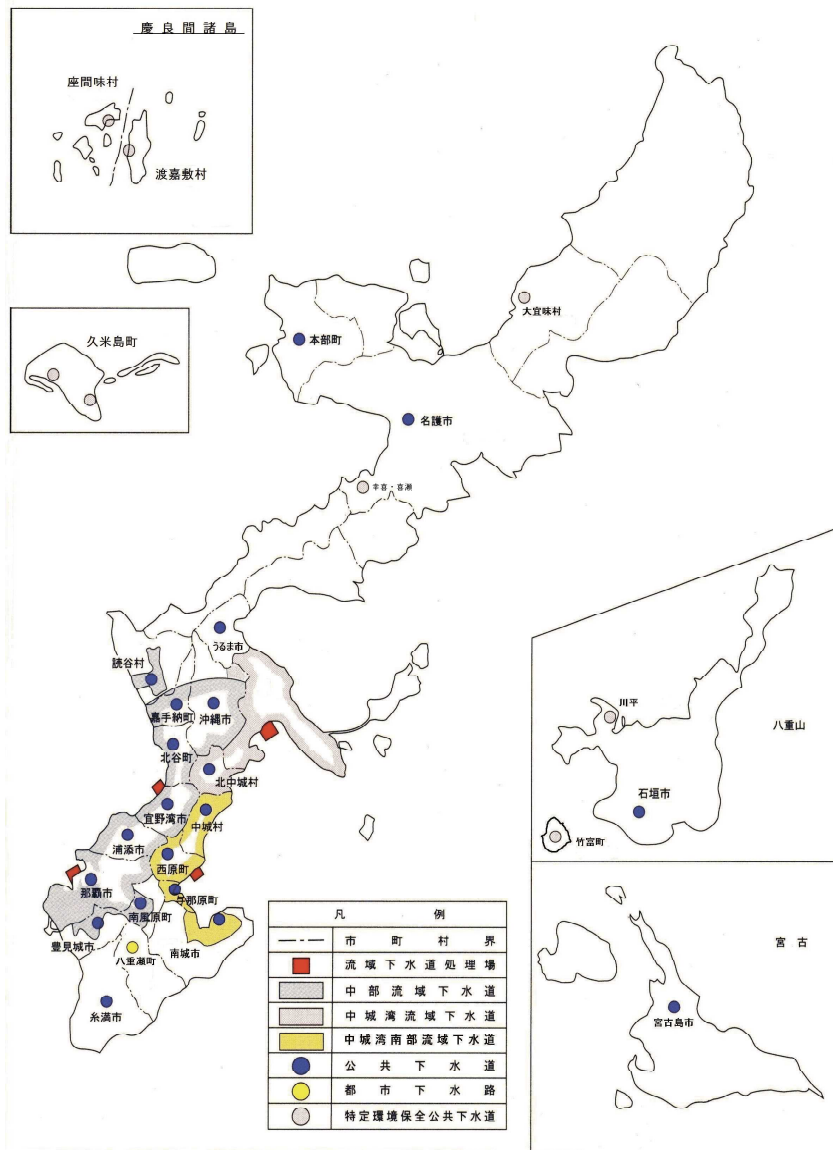
■下水道

○沖縄県の下水道（令和元年6月末現在）

本県の公共下水道（広義）は、令和元年6月末現在、11市8町6村で事業を進めています。



下水道事業位置図



※特定環境保全下水道は都市計画決定が不要



■ その他の県内の都市施設の事例



処理施設 | ごみ処理場 (那覇・南風原クリーンセンター)
(クリーンセンターHPより引用)



教育文化施設 | 学校 (宮古島市立平良第一小学校)
(宮古島市教育委員会HPより引用)



市場 | 市場 (沖縄県中央卸売市場)



火葬場 | 火葬場 (南斎場)
(南部広域市町村圏事務組合HPより引用)



処理施設 | 下水終末処理場 (那覇浄化センター)



公共空地 | 公園 (奥武山公園)



交通施設 | 自動車ターミナル (那覇バスターミナル)



公共空地 | 墓園 (浦添墓地公園)
(浦添市HPより引用)